

教科名	理科	学年	第3学年	教科担当者：石川
-----	----	----	------	----------

《学習目標》

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探究しようとする態度を養う。

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	【生命】生命の連続性	・生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだす。	・身近な生物についての興味・関心をもたせ、観察・実験などを通して、生命の連続性についての認識を深めよう。
5	第1章 生物のふえ方と成長	・生命の連続性が保たれていることや多様な生物が生じてきたことについての認識を深め、現存している多様な生物は進化によって生じてきたことについて理解する。	
6	第2章 遺伝の規則性と遺伝子		
7	第3章 生物の種類の多様性と進化		
8	【物質】化学変化とイオン	・水溶液の電気伝導性や電池のしくみ、中和反応について、イオンのモデルと関連づけて微視的に捉えて理解する。	・化学変化とイオンに関する探究的な学習を通して、水溶液の電気伝導性や電池のしくみ、中和反応について理解を深めよう。
9	第1章 水溶液とイオン	・イオンの存在やその生成が原子の成り立ちに関係することを理解するとともに、酸とアルカリの性質や中和反応をイオンのモデルと関連づけて理解する。	
10	第2章 電池とイオン		
11	第3章 酸・アルカリと塩		
12	【地球】宇宙を観る	・天体の運動や見かけの動きの学習を通して、相対的な運動の理解や空間的な疑念の把握をする。	・地球の自転・公転と天体の動きとの関係や、太陽系と恒星の特徴について理解を深めよう。
1	第1章 地球から宇宙へ	・太陽や月、星座の動きについて定量的な見方をすることによって、地球の自転・公転という運動を理解する。	
2	第2章 太陽と恒星の動き		
3	第3章 月と金星の動きと見え方		
4	【エネルギー】運動とエネルギー	・力、水圧、仕事、エネルギーについて日常生活や社会と関連づけながら理解する。	・物体の運動とエネルギーに関する探究的な学習を通して、力の合成・分解、運動の規則性、エネルギーへの理解を深めよう。
5	第1章 力の合成と分解	・力のつり合いと合成・分解、物体の運動、力学的エネルギーについての規則性や関係性を見いだして表現することや、科学技術の利用の在り方について多面的、総合的に捉え、科学的に考える。	
6	第2章 物体の運動		
7	第3章 仕事とエネルギー		
8	第4章 多様なエネルギーとその移り変わり		
9	第5章 エネルギー資源とその利用		
10	【環境】自然と人間	・自然環境と科学技術の発展と利用などの学習をふまえ、自然と人間の関わり方について深く理解する。	・日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いや、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展について理解を深めよう。
11	第1章 自然界のつり合い	・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に観る力を身に着ける。	
12	第2章 さまざまな物質の利用と人間		
1	第3章 科学技術の発展		
2	第4章 人間と環境		
3	第5章 持続可能な社会をめざして		

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
観点2	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
観点3	自然の事物・現象に進んで関り、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

《教科の約束事》

- ① 授業では積極的に挙手をし、意欲的に授業に取り組みましょう。
- ② 教室の授業では、チャイムが鳴る前に準備を終えて着席しましょう。
- ③ 理科室の授業では、『みんなが安全に、安心して実験ができるように心がけること』を徹底し、事故がなく安全な実験を行いましょう。
- ④ 実験中は先生の指示をよく聞き、ルール（薬品を使う際の保護メガネの着用、立って実験をする、薬品の取り扱いに注意する、火を扱うときに燃えやすいものを机上に置かない等）をよく守りましょう。
- ⑤ 授業プリント、ワーク、ノート等の提出物は決められた日に提出しましょう。

【持ち物】

・教科書 ・ワーク（ワークノート） ・ファイル ・理科便覧 ・筆記用具

《指示があったときに持ってくるもの》

・実験に必要な道具 ・色鉛筆 ・のり ・はさみ 等

※教科担当の指示をよく聞いてください。